



CSR報告書 2024

株式会社デンソートリム
DENSO TRIM CORPORATION

目次

1. 会社概要	2
1-1. 会社概要	
1-2. トピックス	
2. 社長メッセージ	4
3. 製品概要	5
3-1. 二輪製品	
3-2. 四輪製品	
4. デンソートリムのCSR	7
4-1. 基本的な考え方	
4-2. デンソープラステナビリティ方針	
4-3. デンソープラス社員行動指針	
4-4. デンソープラススピリット	
5. 社会性報告	9
5-1. 社員とともに	
5-2. 地域・社会とともに	
6. 環境報告	21
6-1. デンソートリム環境方針	
6-2. 環境推進体制	
6-3. 環境行動計画	
6-4. 法規順守状況	
6-5. 生産環境負荷削減	

本社敷地全景

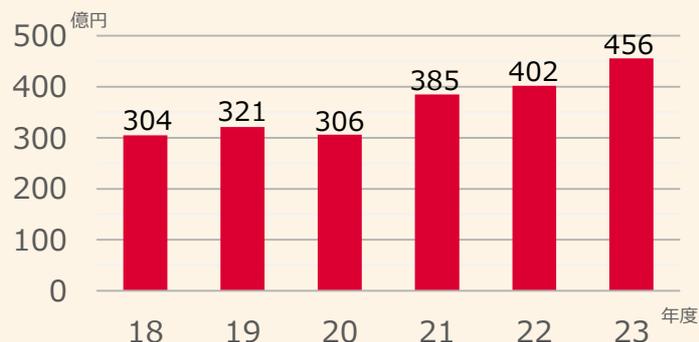


1. 会社概要

1-1. 会社概要

社名	株式会社デンソートリム
所在地	〈本社/本社工場〉 〒510-1222 みえけん みえぐん こものちよう おおごはら あかさか 三重県三重郡菟野町大強原赤坂2460 〈大安工場〉 〒511-0296 みえけん いなべし だいあんちようもんぜん 三重県いなべ市大安町門前1530 (株式会社デンソー 大安製作所内)
設立	1990年3月30日
操業	1991年11月2日
代表	取締役社長 水野 功
資本金	3億1千万円
従業員数	1207名(2024年3月末現在)
事業内容	・二輪車用発電装置 ・電子式エンジン制御装置 ・ハイブリッド車用電池監視装置 ・デジタルキーアンテナ ・燃料ポンプ制御装置 ・灯火制御装置 ・排気センサ/排気温センサ ・PTC素子応用製品 ・EGRガス温度センサ ・クランク角センサ などの製造

売上高



1-2. トピックス

関連するSDGs



(1) 第五種無災害記録達成 TOPIC

5月15日をもち、本社工場 第5種無災害記録（3560万時間）を達成しました。達成記念として、「ジュンベリー」を植樹しました。今後も「安全は全てのものに優先する」を基軸として、無災害継続を目指します。



記念植樹

(2) 全国アビリンピック入賞 TOPIC

11月17日～19日に愛知県国際展示場で開催された第43回全国アビリンピックの「電子機器組立部門」にて当社従業員の小林が努力賞を受賞しました。今後も障がいのある方々の職業能力の向上を図るとともに、障がいのある方々に対する理解と認識を深めていきます。



左:社長 水野 右:小林

(3) こもガク出店 TOPIC

10月28日に、菰野の魅力を学ぶイベントである“こもガク”に出店し、計16名の方に来社いただきました。自動車部品製造業の工場でのロボットの活用事例やからくり改善の事例等を見学していただき製造業の楽しさや製造業への興味・関心を感じて頂きました。



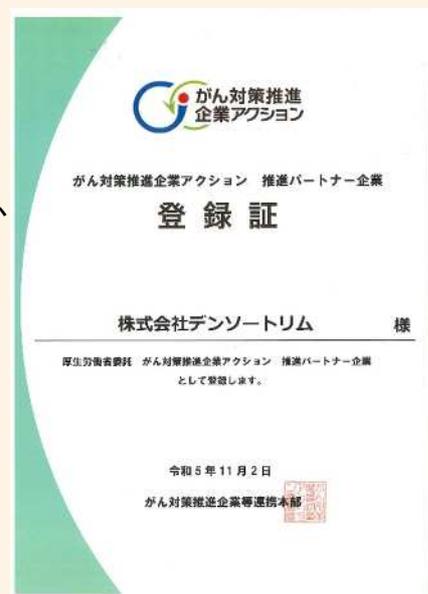
こもガク

(4) がん対策推進企業アクション 推進パートナー企業に登録 TOPIC

11月2日付で「がん対策推進企業アクション 推進パートナー企業」に登録されました。従業員ががんに対する正しい知識を持ち、健康で安心して働ける職場づくりの一環として、下記の取り組みを行っております。

- ①サイネージやポスターを通じてのがんに関する情報発信
- ②2022年度より社内胃がん検診開始
- ③腹部エコー、大腸がん検診に加え、2023年度から
婦人科がん検診・PSA検査を定期健康診断と同時実施
- ④女性従業員へ女性特有のがん検診の重要性を啓発
- ⑤保健師面談の実施

がんに対する正しい知識を発信し続け、がん検診の受診を啓発するとともに、がんに罹患した従業員の仕事と治療の両立を支援していきます。



登録証

2. 社長メッセージ



デンソートリムはデンソーグループの一員として、二輪車用発電機や二輪・四輪車用エンジン制御製品・電子製品の開発・設計・生産といった事業を担っており、多岐に渡るバイク、自動車に部品を提供しています。

デンソーグループは「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命とし、全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を実践できるように「デンソーグループサステナビリティ方針」を定め、実行しています。デンソートリムもこの方針に従って、日本、海外での企業活動を通じて、率先して新たなモビリティ社会の持続的な発展に貢献を続けることを考えています。

また、環境においては、省エネ、創エネでカーボンニュートラルを進め、従業員の健康のために「健康経営優良法人」認定を取得し社員の健康管理に最優先に取り込むことを進めています。今後も社会、地域、お客様、関係会社、そして従業員の皆さんに喜んでもらえる会社になるように取り組んで参ります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2024年6月

株式会社デンソートリム

取締役社長

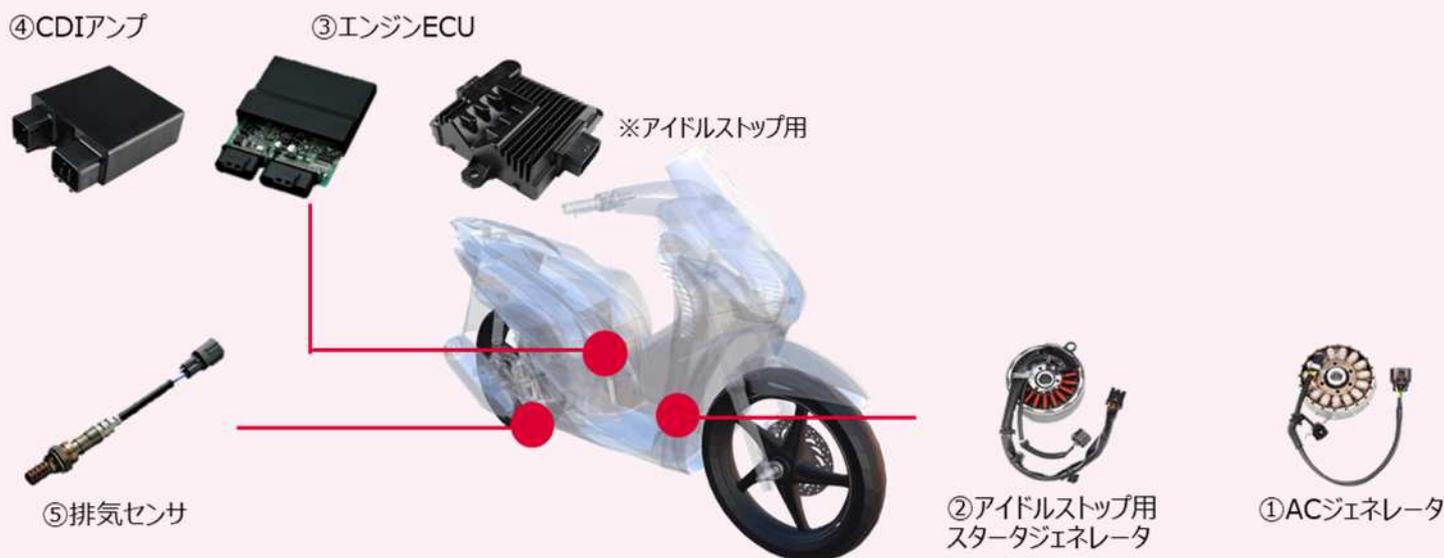
水野 功

3. 製品概要

デンソートリム設立のきっかけとなった二輪車用 A C ジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来つくり続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では「エンジン E C U ・ ランプ E C U ・ ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や「O 2 センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。

3-1. 二輪製品



永久磁石を用いた、二輪車用発電機であり、電気を電装部品に供給し、かつバッテリーに充電するために必要な製品です。加えて、エンジン回転を安定させるフライホイール機能を持ち、エンジンの最適制御を可能とする独自技術の突起を備え、OBD2規制対応に貢献しています。

- ① ACジェネレータ … また世界各地で材料を現地調達しており、部品輸送のCO2排出低減に寄与しています。近年、固定子のコイルにアルミ線を採用した発電機を独自開発し、軽量化にも貢献しています。

- ② アイドルストップ用スタータジェネレータ … ACジェネレータに、エンジン始動のスタータ機能を追加した製品です。エンジン直結でブラシレスのため、摩耗部がなく、始動が早く、静音性に優れています。二輪では希少なアイドルストップを可能とし、低燃費化に貢献しています。また、回転子は接着剤を用いない構造としており、加熱硬化を廃止した環境に配慮できる製品です。

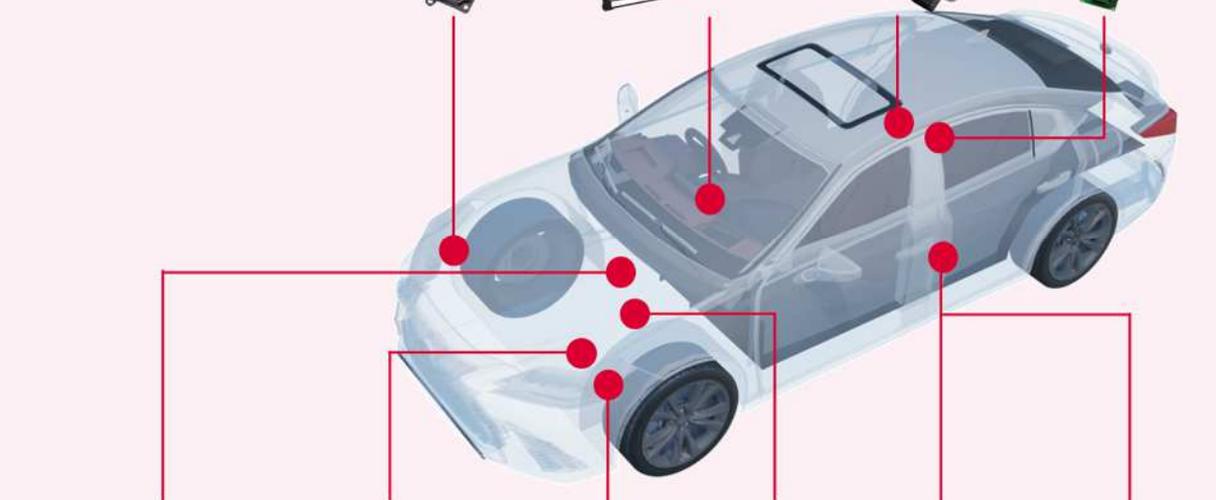
- ③ エンジン ECU … 燃料をエンジンにタイミングよく、そして最適に噴射するために電子制御を行います。燃焼をコントロールすることでエンジン本来の性能を高め、高出力化、燃費向上、クリーンな排気を実現します。

- ④ C D I アンプ … エンジン回転数に応じてエンジンの点火時期を適正に制御する二輪車用電子制御装置です。燃費向上と排気ガスのクリーン化に貢献します。

- ⑤ 排気センサ … 排気ガス中の酸素（O2）濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ（ECU）で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。

3-2. 四輪製品

⑥ランプECU ⑨PTC素子応用製品
(クイックヒータ、フューエルヒータ等) ⑤FPC ①電池監視ECU



④デジタルEGTS用⑪EGRTS
サーキットASSY ⑩クランクセンサ ⑦LDM ②デジタルキー
アンテナ ③NOx-SCU ⑧排気センサ

- ① 電池監視 ECU ... ハイブリッド車の電池ユニットの電圧、電流、温度を監視する電子制御装置です。HV-ECUに監視情報を伝えます。
- ② デジタルキー アンテナ ... スマートフォンで車の施錠や解錠をするBLE (Bluetooth Low Energy) 電波を受信するアンテナです。車格や用途に応じ、システム機能を層別。高機能モデルではスマートフォン操作不要でドアの開閉が可能となります。
- ③ NOx-SCU ... 車両から排出される有毒なNOxを検知するセンサが組み込まれた電子制御装置です。車両から排出されるNOx排出量を低減させ厳しい排気ガス規制に対応する事で地球環境保全に貢献します。
- ④ デジタルEGTS用サーキットASSY ... 車両から排出される排気ガスの温度センサを組み込んだ電子制御装置です。エンジンからの排気経路にセンサを配置する事で省燃費に貢献します。
- ⑤ FPC ... エンジンへの燃料供給量を制御する電子制御装置でエンジンECUからの信号により燃料ポンプへ最適な燃料を供給し燃費向上に貢献します。
- ⑥ ランプECU ... LEDヘッドランプの点消灯制御と光軸制御を行なう電子制御装置です。夜間走行の視認性を大幅に高め、省エネに貢献しています。
- ⑦ LDM ... LEDヘッドランプの明るさを一定に制御する電子制御装置です。夜間走行の視認性を確保し、省エネに貢献しています。
- ⑧ 排気センサ ... 排気ガス中の酸素 (O₂) 濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ (ECU) で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。
- ⑨ PTC素子応用製品 ... 自己温度制御特性を有したセラミック素子 (PTC素子) が組み込まれたヒータです。自動車用エアコンユニット内に搭載され、エンジン水温が低い状態でも車室内を素早く暖め、快適な空間を提供します。
- ⑩ クランクセンサ ... エンジン回転数とクランクシャフトの角度位置を検出するセンサです。エンジン制御ECUが最適な点火時期制御、燃料噴射量制御等を実施できる状態にします。
- ⑪ EGRガス温度センサ ... 温度と関連のある抵抗値を示すセラミック素子が組込まれた温度センサです。車の排気ガス中の窒素酸化物低減の為に、排気ガスの一部を吸気側へ再循環させるEGRシステムにおいて、再循環させた排気ガスの温度をモニターします。

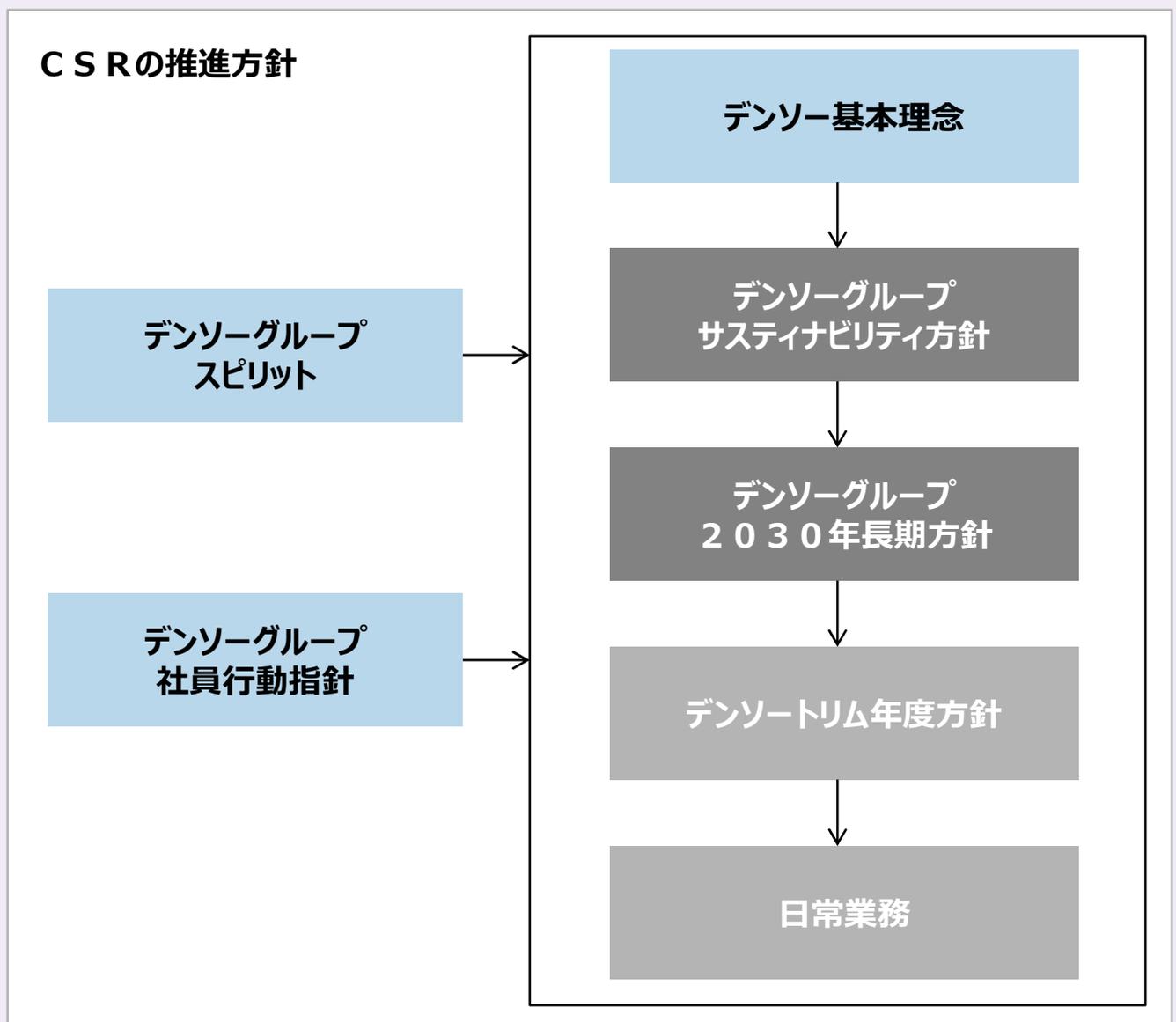
4. デンソートリムのCSR

4-1. 基本的な考え方

デンソーグループは、基本理念の中で「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」ことを使命として掲げています。この使命を実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。

これを世界中で事業活動を行うデンソーグループ各社が実践していくため、2006年4月、「デンソーグループ企業行動宣言」を策定し、ステークホルダーへの責任を明らかにしました。さらに2018年12月には、「デンソーグループサステナビリティ方針」へと改定し、社会の持続的発展へ率先して貢献していくことを宣言しました。このようにデンソーグループはCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2017年に策定された長期経営方針「デンソーグループ2030年長期方針」を受け、私たちデンソートリムはデンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立てCSR活動を推進しています。



4-2. デンソーグループサステナビリティ方針

デンソーグループは、「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命としています。この使命を達成するために、デンソーグループの全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を、社会やステークホルダーとのつながりの中で実践できるように「デンソーグループサステナビリティ方針」を定めました。

【宣言文】（抜粋）

私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

- (1) 変化を先取り、技術や生産方法あるいは組織、マネジメントなどの変革を通じて、社会に有用かつ安全な商品・サービスを開発、提供し、社会的課題の解決に努めます。
- (2) 国の内外において、関係法令、国際ルールとその精神を順守し、各国・地域の文化・歴史を尊重しつつ、高い倫理観をもって、健全かつ公正な事業活動に努めます。
- (3) 労働時間、休日、賃金などの基本的労働条件に関する各国・地域の法令を順守するとともに、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境の維持・向上に取り組みます。
- (4) 社会との共生をめざし、事業活動を行うあらゆる国・地域において、独自にまたはパートナーと協働しながら積極的によりよい社会づくりに参画し、その発展に貢献します。

4-3. デンソーグループ社員行動指針

社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーにどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識し行動するよう、指針の浸透を図っています。

項目

- I. デンソーグループの一員として
- II. 生き生きとした職場を目指して
- III. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
- IV. 仕入先との共存共栄を目指して
- V. 株主の信頼と期待に応えるために
- VI. 社会と共生するために

4-4. デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するため、グループ全体で共有すべき価値観・信念を明示したものです。

企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」

デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組みを推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳し、グローバルな共有に注力しています。

5. 社会性報告

5-1. 社員とともに

関連するSDGs



(1) 社員教育

① 基伝館（社内教育訓練道場）

モノづくりに必要な知識・技能を習得する場としてモノづくり棟2Fに設け、座学（OFF-JT）と実技訓練（ON-JT）を実機・実践に近い形で、新入社員はもとより中堅・職制まで全員を対象に教育、各種検定訓練、試験を開催し人材育成を推進しています。

② 階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

目指す人材は、「自ら学び、自ら考え、挑戦し続ける人材」とし教育をしています。特に、グローバル対応力強化の為にメニュー作りを強化しています。

階層別教育：役職階層及び管理推進業務指名者に必要な役割意識、意欲の向上管理手法の習得を図る教育

職能別教育：各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育

	階層別教育 マネジメント	職能別教育 事務分会	職能別教育 技術分会	職能別教育 技能分会
管理職	<ul style="list-style-type: none"> ・LEMS ・部長特訓スクール ・課長研修 		<ul style="list-style-type: none"> ・新任課長品質 ・新任課長特許 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野管理者教育 (TIE、TPM等)
指導級	<ul style="list-style-type: none"> ・課題形成能力向上 ・MBC ・リーダー強化 ・班長教育 		<ul style="list-style-type: none"> ・新任係長品質 ・新任係長特許 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度技能研修 ・職長教育 ・TIE/PM 上級 ・品質管理 上級
中級	<ul style="list-style-type: none"> ・5等級研修 ・現場力を高める ・4等級研修 ・課題発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・5等級研修報告会 ・ロジカルシンキング 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術検定 ・SQC実践活用 ・原価と原価管理 ・特許中級 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技能研修 ・各種安全衛生資格講習 ・TIE/PM 中級 ・品質管理 中級
初級	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決 ・働く心構え ・フォロー研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品知識 ・業界知識 ・原価基礎 ・トヨタ生産方式 	<ul style="list-style-type: none"> ・テクニカルスキル研修 ・品質 ・コストエンジニアリング基礎 ・特許基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・TIE/PM 初級 ・品質管理 初級 ・異常処置 ・職場の基本

③ QCサークル

創業時より活動しているQCサークル活動は、サークルメンバーの能力向上・自己表現、明るく活気に満ちた働きがいのある職場づくり、お客さま満足度の向上及び社会への貢献を目指しています。

QCサークル三重地区登録企業214社の準幹事会社として、各社が集うサークル活動発表会講評や研修会講師などを担い、サークル活動の普及・支援に貢献。

社内活動では、2023年度 72サークル計695名がQC手法などを学び、活用しながら管理・改善に取り組んでおり、社内大会にて活動の成果を“現地現物現実”で確認するなど、活発なQCサークル活動を推進しています。

また、QC三重地区・東海地区主催の社外大会にも積極的に出場し、「石川馨奨励賞」をはじめとした数々の受賞経験があります。



社内QCサークル活動の様子

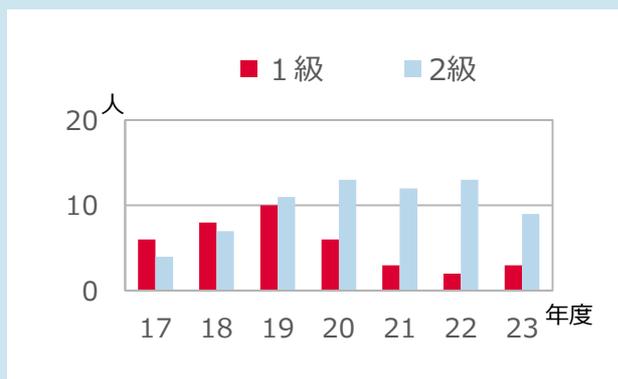


社外研修の様子
(だるま落としを通じて学ぶ体験学習)

④ 社内技能検定

当社では2017年より高度技能集団企業を目指し、社内検定制度を整備・運用しています。この制度は、当社のモノづくりに必要な実技試験【機器組立、計測、設備診断(1級)：品質チェック(2級)】と学科試験を設定し、全ての試験を合格とした社員を製品製造装置オペレータとして資格認定する仕組みで、社員の技能を切磋琢磨し継続的に高めていこうとしています。

本制度は、厚生労働省より特に技能振興上奨励すべきものとして認定され「厚生労働省社内検定認定制度」に登録されました。更に当社から三重県に働きかけて「三重県技能評価認定制度」が創設され、2020年当社社内検定制度が三重県の認定第一号を取得。これにより合格証に三重県知事名が記載される事となり、2021年度には一見 勝之知事名入りの合格証が授与されるようになり、23年度も1級2名 2級9名に授与されました。



社内検定認定者数推移

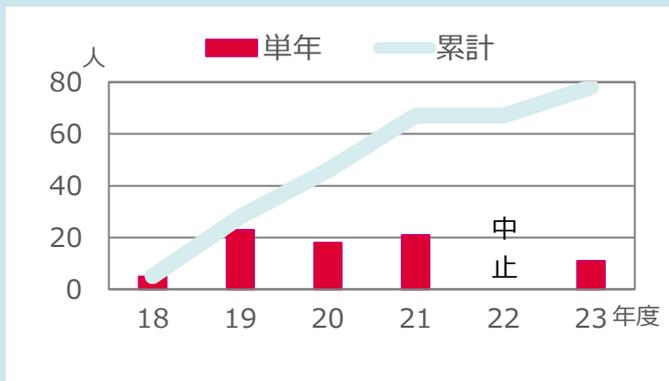


検定試験の様子

⑤二輪道場（バイク教室）

二輪車（バイク）用部品の開発・設計に携わる従業員の知識・技能の向上を目的として、2018年に技術棟内に二輪道場を開設しました。

道場では2018年から定期的に二輪車用部品の開発・設計に携わっている社員が参加する「バイク教室」を開講しており、参加者が自分たちの手で実物の二輪車を分解・再組立てしたり、システム動作を確認する等して、二輪車の構造に関する見識を深めています。2023年度までに延べ78名がこの教室を受講しており、今後も順次技術系の社員を中心に受講していく予定です。



バイク教室受講人数推移



バイク教室の様子

※2022年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施を中止しております。

⑥第43回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック） 〈電子機器組立部門〉努力賞受賞

TOPIC

11月17日～19日に愛知県国際展示場で開催された第43回全国アビリンピックの「電子機器組立部門」にて、当社の小林が努力賞を受賞しました。弊社では基本理念で社員が「積極的にチャレンジする環境を創る」としてアビリンピックへの参加も支援しており、全国大会の予選会となる三重大会の同競技種目に5名の社員の方が参加。互いが切磋琢磨しながら訓練を重ねた結果、昨年の西尾に続き、小林が優秀賞（1位）を獲得、三重県代表として全国大会への出場切符を2年連続で手に入れました。その後も仲間の支援や本人の並々ならぬ努力で磨き上げた技能を大舞台で見事に発揮し、大きな成果を上げる事が出来ました。



三重大会 優秀賞受賞



全国大会 競技風景

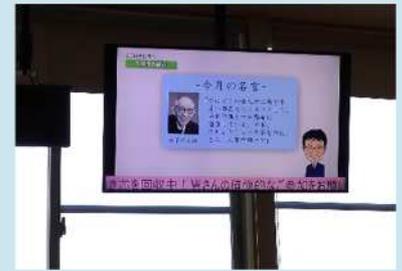


全国大会 閉会式

(2) コミュニケーション

① 全社朝礼

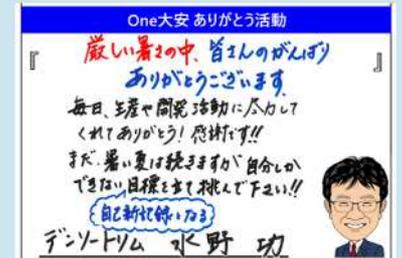
毎月第一稼働日に全社朝礼を実施しています。従業員数の増加、通信環境への配慮から、自席や職場で聴講する形で実施しています。当日の夜勤者や聴覚障がい者にも内容を伝えるべく、全社朝礼ダイジェストを各職場やサイネージ（大型液晶パネル）での展開を実施しています。



全社朝礼ダイジェスト動画配信
(本社食堂)

② ありがとう活動

従業員一人一人の嬉しさや職場の士気向上・活性化、コミュニケーション向上へ繋げる企画として、社長からの感謝を「メッセージカード」にして全従業員へ配付しました。カード裏面は 構内売店で交換可能な飲み物・食べ物への引換券となっております。



メッセージカード

③ 元気プロジェクト

2016年4月より「お客様から信頼され、従業員が誇りに思える、明るく・楽しく・元気な会社」を目指す、元気プロジェクト活動を開始しました。活動に自主的に参加している社員とともに、様々な取り組みを行っています。今後も当社が明るく元気な会社となれるよう、活動を実施していきます。

- 7月 セタフォトコンテスト
- 9月 グリーンフォトコンテスト
- 9月 BBQ懇親会
- 12月 従業員への感謝プレゼント
- 1月 手作り門松設置



BBQ懇親会



感謝プレゼント

左:メッセージカード
右:社名入りどら焼き

④ 社員親睦

より良い職場環境を築くべく、社員同士や社員と経営層との親睦を図る場を積極的に設けています。これらは係長以下の全従業員で構成される「従業員会」が中心となり運営しています。

- 10月 ONE大安レクリエーション
- 11月 球技大会
- 11月 健康ウォーキング
- 1月 20歳を祝う会



球技大会



20歳を祝う会
左:本社工場 右:大安工場

⑤ 永年勤続表彰

勤続20年、30年を迎え、永く会社に貢献している従業員の労をねぎらい、さらなるモチベーションアップに繋げるため、創立25周年を迎えた2015年より永年勤続表彰を毎年継続して行っています。2023年4月には、勤続30年を迎えた10名と勤続20年を迎えた10名を対象に賞状と記念品が贈呈されました。



永年勤続20周年



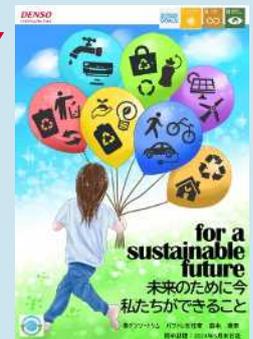
永年勤続30周年

(3) 社外表彰

① グローバルデンソー省エネポスターコンクールで入賞

TOPIC

デンソーグループでは毎年6月を環境月間と定めており、それに合わせて様々な環境に関する取り組みを行っています。その活動の一環としてデンソー本社、海外拠点、国内グループ会社を対象に省エネポスター作品の募集がありました。このコンクールで当社社員の森本の作品が2401作品の中で優れた35作品に与えられた「地域賞」を受賞しました。



受賞作品

受賞者の声

この度は大変素晴らしい賞を賜り光栄に思います。私一人の力ではなく普段より指導いただいている周りの方々のおかげだと思います。ありがとうございます。今回ポスターを作成するにあたり姪や甥を思い描きました。私たちだけにとどまらず未来ある子どもたちの為にも、より良い地球環境を残していくことが重要だと考えます。このポスターが皆さんの省エネ意識を変えるきっかけになれば幸いです。



左:社長 水野 右:森本

② 創意工夫功労者賞受賞

TOPIC

当社社員2名が文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」を受賞しました。

《受賞内容》

吉田 「オペレータサポートシステムの考案」

森 「天板4分割からくり作業台の考案」

「創意工夫功労者賞」とは

優れた創意工夫によって各職域における技術の改善向上に貢献した実績顕著な勤労者を文部科学大臣が表彰するものです。この賞は、工場や事業所などで働く方々が、作業能率や品質向上、コスト削減などの技術改善に貢献した実績を評価するものです。



表彰状等伝達式



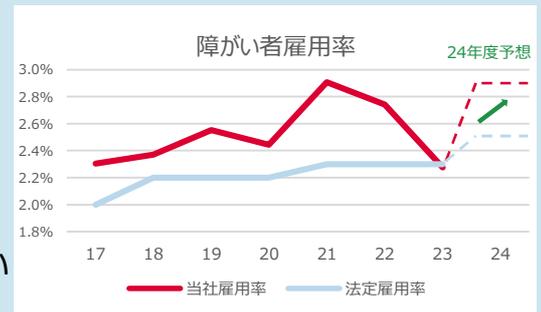
左:吉田 中:社長 水野 右:森

(4) 多様な人々が活躍できる職場づくり

当社はダイバーシティ推進を重要な経営戦略の一つと位置づけ、すべての従業員が長く活躍できるよう様々な活動を推進しております。

① 障がい者雇用

23年度は基準日の6月1日時点では法定雇用率を0.2%下回ってしまいましたが、その後4名の聴覚障がい者の方に入社いただいております。24年度は法定雇用率が2.5%に引き上げられますが、当社雇用率は大きく上回る見込みです。なお、聴覚障がい者の懇親会を年3回開催し、会社や職場への要望等を確認・対応しています。今後も定期的な開催を検討しています。



社内・社外活躍事例

入社当初は不安が多い中で、周りの方の支えもあって今年で16年目になっていました。6年前にデンソートリムとして初めて三重県アビリンピックに参加し3位・落選を4年間繰り返していました。より良い作品を作るにはどうしたら良いかを同僚と意見し合いながら対策しました。そしてついに5回目で悲願の優秀賞を取ることができました。全国大会本番ではみんなの応援のおかげで努力賞を獲得することができて嬉しかったです。今後は国家試験2級にチャレンジします。また、同じ聴覚障がいの仲間達に三重県アビリンピックで優秀賞を取れるように指導していこうと思います。



パワトレ生産1課 小林

② 次世代育成の推進

仕事と育児や不妊治療の両立を支援するため、「法を上回る育児休業制度」や「不妊治療のための休職制度」などを制定しております。特に育児については、性別を問わず育児休業をはじめとした育児支援制度の利用を促進しており、23年度における男性育児休業取得率は50.0%と、高い数値となっております。なお、24年度からは交替勤務職場において、子育て世代がより働きやすい職場づくりの一環として、昼勤専従制度を運用開始し、これまで以上に次世代育成を推進いたします。

育児休暇制度利用者の声

私は1人目・2人目と育児休暇制度を利用しました。2人目はコロナ禍での出産だった為、色んな不安もありましたが、約2年間育児休暇を頂き、気持ちに余裕を持って子供・家族と向き合うことが出来ました。休暇前も、長期休暇を取る事で仕事は大丈夫かなという気持ちもありましたが、職場の方々が快く受け入れそしてサポートしてくださり感謝の気持ちしかありません。育児は経験があってもなくても大変です。これからもたくさんの方に利用して頂けたらなと思っています。



パワトレ工場 森沢

③ シニア社員の活躍推進

今後増加が見込まれるシニア社員がいきいきと働き、その豊かな経験と能力を最大限発揮できる環境や制度の整備を推進しています。

- i ライフマネジメント研修（定年後の生きがい、健康、生活設計を50歳で考える）
- ii 振り返り研修（ライフマネジメント研修受講後 5年で、生活設計を再度考える）
- iii ネクステージ面談（定年後の働き方を55歳から上司との面談を通じて考える）
- iv キャリアアソシエイト制度（60歳以降の活躍促進。意欲・能力のある方は役職を担う）
- v 65歳以降雇用（個人スキルを有する方の指導員制度あり）

④テレワーク(在宅勤務)制度の導入

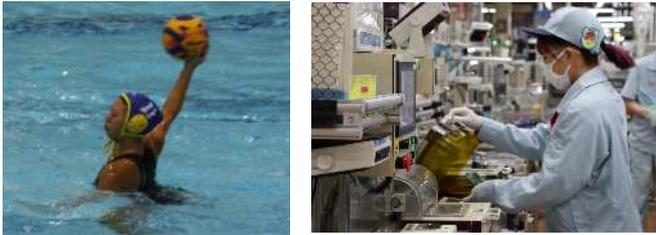
職業生活と家庭生活の両立に資する雇用環境の整備の一環として、テレワーク(在宅勤務)制度を導入しております。同制度の活用により、育児・介護・家事の時間を確保しながら働くことや、台風などの災害時でも通勤が不要なことから、社員の安全を確保した上で、自宅で安全に業務を行うことができます。

⑤アスリート社員の活躍

当社は、三重県からの依頼により、地域貢献の一環としてアスリート採用を積極的に行っています。現在、2名（バスケットボール男子、水球女子）の選手を雇用しており、仕事と競技の両立を強く後押ししています。

アスリート選手紹介

リヴィエール三重所属 水球コーチ
エレ生産4課 谷口



水球というスポーツは知っている人が少なく、職場の方々に理解してもらえるか不安でいっぱいでした。最初は通常業務をしつつ、水球の練習に参加していて、大変なことが多かったですが、職場の方々のご理解・ご協力・温かいご声援によって働きやすい環境を作っていただき仕事と水球の両立を頑張っています。これからも感謝の気持ちを忘れず、仕事も水球もしっかり取り組んでいこうと思います。

ヴィアティン三重所属 バスケットボール選手
試験実験課 向後



平日は仕事をしてから夜にチームでの練習を行い、そこからウエイトトレーニングや体のケアをしています。シーズンが始まると土日は毎週試合が行われます。プロ選手として上を目指しているため、体や気持ちの面でも簡単なことではないですが、会社から理解とご協力いただき、平日に試合や遠征の移動がある時には公休を使わせていただくなどサポートいただいています。会社からの応援に感謝しつつ、競技と仕事でのスキルを身につけながら頑張ります。

(5) 防災救命（災害への備え）

23年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、防災救命教育の充実を図り、全社防災訓練も通常の実施方法に戻すこととしました。

コロナ禍で低下していると考えられる防災救命のスキルを底上げするため、新たな試みとしてデンソーユニティで作成した避難、消火、救護搬送などの各カテゴリーごとの動画教育資料と夜間の停電状態を再現した動画を使った全従業員への教育を各職場の防災救命リーダー（普通救命講習受講者）の指導のもとで7月から10月の4か月かけて実施しました。

防災隊向けの実放水訓練や救命救護実践教育も継続実施しております。

10月の全社防災訓練では屋外避難後の徒歩帰宅を想定した徒歩帰宅ルートごとに並びなおす訓練も再開しました。また菰野町と当社との「災害時における支援協力に関する協定」を9月に締結し、大規模災害時の情報共有、デンソートリムの井戸水の利用提供など連携して災害対応に協力していくこととなりました。



防災訓練 帰宅ルート層別の様子



夜間避難訓練の様子



協定締結式の様子

(6) 健康経営の取り組み (こころとからだの健康管理)

デンソートリムでは、経営理念にある「共に働く仲間一人ひとりが幸せで充実した人生になるように努力する」を実践するため、社員が健康第一でいきいきと働くことができるよう、健康増進活動を全社で推進しています。

2023年度は新たに下記を実施いたしました。

① 職場健康推進リーダーの選任

個人の健康意識向上、健康を重視する企業風土の醸成をさらに推進するべく、職場においても主体的に健康づくり活動を実践していくため職場健康推進リーダーを選任いたしました。3月には職場健康推進リーダーを対象にした健康セミナーを開催。職場でもできるストレッチや筋トレを講師の方に指導いただきました。引き続き各種セミナーや健康情報の共有を実施し、職場の健康課題にそった対策を実施してさらにいきいきと働ける職場になるように取り組んでいきます。

② 婦人科がん検診の定期健康診断と同時実施

当社では、これまで休日に婦人科がん検診を希望者に実施していましたが、受診率が低いことが課題でした。がん検診を受診しない理由に、がん検診や疾患についての知識不足、時間がない、受診機会が少ないことがあがったため、チラシ配布や教育での啓蒙の他、がん検診を定期健康診断と同時に就業時間内で受診できるようにするなど、がん検診を受けやすい環境を整備しました。

その結果、受診率は乳がん検診で30%→90%、子宮頸がん検診は20%→60%と多くの従業員に受診してもらうことができました。

2023年当社は、がん対策推進企業アクション推進パートナー企業に登録されました。

今後もこの受診率を継続できるようにすること、ヘルスリテラシー向上に取り組んでいきます。

③ 喫煙による健康障害防止

デンソートリムでは屋内喫煙所の撤廃、就業時間禁煙の他、2021年からは紙巻きタバコを禁止するなど喫煙による健康障害防止に取り組んできましたが、新たに2030年度からの敷地内全面禁煙と、それに向けて計画的・段階的に各施策を実施していくことを従業員に展開いたしました。まず2024年4月からは月1回の禁煙デーを設定、その卒煙支援として禁煙イベント（ペア禁煙）など実施していきます。



これらの活動の結果、昨年に引き続き「健康経営優良法人(大規模法人部門)」 「三重とこわか健康経営カンパニー (ホワイトみえ)」の認定を受けることができました。



(7) 安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合い言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しています。また、2017年には「安全道場」を開設し、従業員へ安全に関する体感教育を行っています。これらの施策の結果、操業以来「休業災害以上0」を継続しており、2023年5月15日には第五種無災害記録（3,550万時間）を達成しました。今後も愚直に安全活動に取り組み、「災害ゼロ」を目指します。

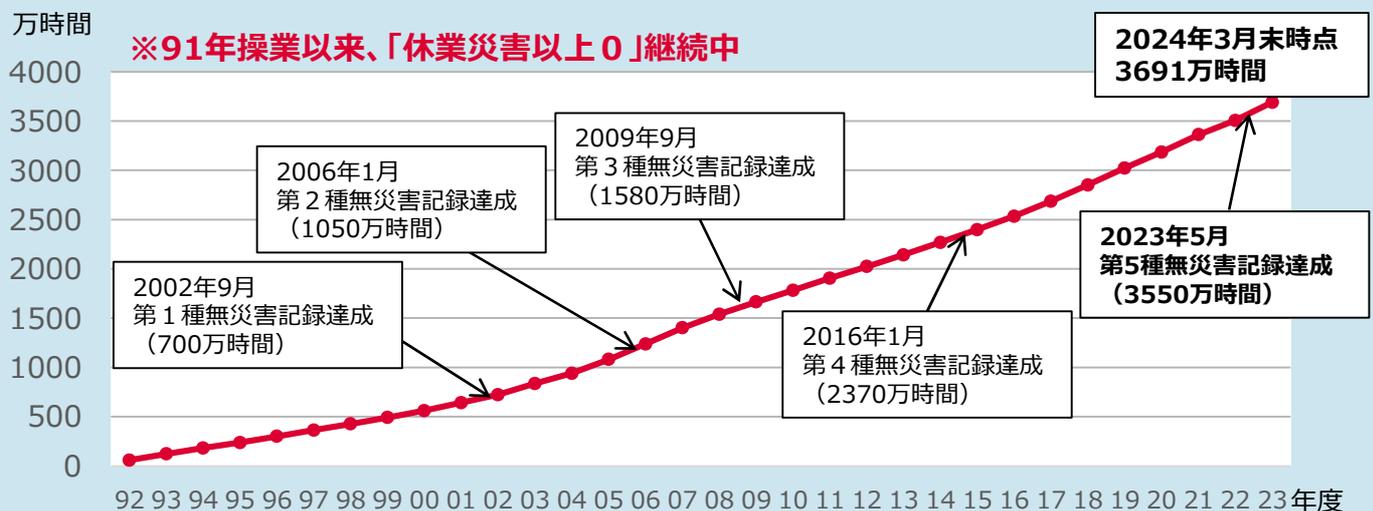
①安全指標（2023年度）

管理項目	目標	実績	評価
重大災害	0件	0件	○
休業度数率	0	0	○
出火事故	0件	0件	○
職業性疾病	0件	0件	○

②安全施策

	19年	20年	21年	22年	23年
自発的に安全行動できる意識の浸透	3S 対話 3-3 安全日めくりカレンダー安全・歩行5訓の徹底				
	安全基本行動の教え込み				
	班長安全宣言 リスクアセスメント・リスク低減活動				
リスク先取りによる重大災害防止対策強化	公開段取 トップ層による確認				
	トップ安全・5S診断・環境重要設備巡回				
	重大リスク低減安全対策				
	クレーン	ロー点検	危険物	レザ加工機	
マネジメントの強化	安全装置無効化防止対策 いじり防止ネジ装着				
	OSHMS全社活動/化学物質強化				
				ISO45001 取得(大安)	

③無災害時間（休業以上）



経営層による安全診断
(公開段取り)



安全道場



右:四日市労働基準監督署 宮田署長
左:社長 水野



5 - 2. 地域・社会とともに

関連するSDGs



(1) SDGs貢献活動

当社ではSDGs達成に向けて身近な事からSDGsに繋がる活動を行っております。

①ファミリーオープンハウス実施 **TOPIC**

8月2日と8月25日に、ファミリーオープンハウスデーを開催しました。本社工場は2019年開催以来3年ぶり、大安工場は開所以来初の開催となりました。10家族26名の方にご参加いただき、職場見学やオリジナルバック作りを通じて、会社への理解や家族間のコミュニケーションを深める一日となりました。



ファミリーオープンハウス

②菰野町社会福祉大会 **TOPIC**

9月2日に、菰野町町民センターで第35回菰野町社会福祉大会が開催されました。菰野町長、菰野町社会福祉協議会長より感謝状をいただきました。



菰野町社会福祉大会

③地域懇談会開催 **TOPIC**

11月29日に地元地域の皆様をお招きし、地域懇談会を開催しました。当日は会社概況の説明や、工場見学などを行いました。創業以来、地域に根ざした活動を続け、地元の人々とも深い交流を続けております。今後も地域に根差し、地域社会から信頼・共感される企業を目指してこの活動を継続していきます。



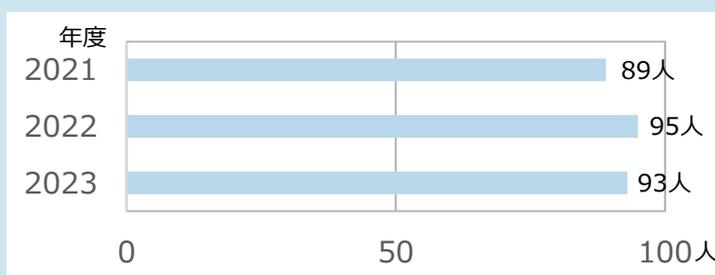
地域懇談会

④「デンソーグループ・社会貢献活動」の取り組み

当社では地域社会の一員として様々なボランティア活動を行っています。当社はこれらの活動を「デンソーグループ・社会貢献活動」の取り組みとして、今後も大切にしています。

献血活動

私たちの血液で命を救うことを実践するために、1995年より社内で献血活動を平日の勤務時間内に年2回（春・秋）実施しています。



SDGsコーナーの設置

2022年3月より、多くの従業員が集う本社食堂前と工場通用口付近に“SDGsコーナー”を設置しております。SDGsコーナーではSDGs行動の紹介やちよぼう回収を行っております。その他社内各所に収集箱を設置しております。



本社食堂前 SDGsコーナー

-2023年度回収実績-

空き缶のプルトップ (2009年～)

障がいのある子どもたちに車いすを贈るためにプルトップ収集を継続しています。自販機や各職場に収集箱を設置し、気軽にボランティアができるようにしています。約200kgのプルトップで車いす1台が贈れます。



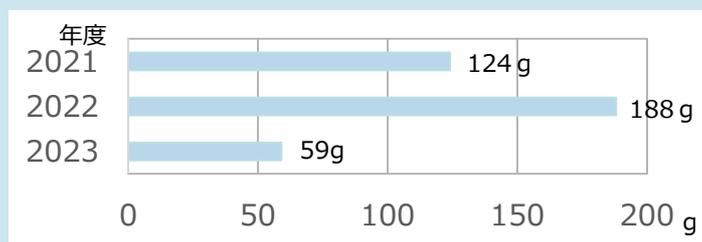
ペットボトルのキャップ (2010年～)

世界の子どもをワクチンで病気から救うために、ペットボトルキャップを収集しています。各棟に収集BOXを設置し、確実に回収できるようにしています。満杯になると(2400個)3人分のワクチンが購入可能となります。



使用済み切手 (2013年～)

地域の福祉活動推進に役立てていただくために、使用済み切手を収集しています。菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品を贈っています。



その他回収 (2022年～)

- 書籍 ……17冊
- コンタクトレンズケース ……3.3キロ
- テトラパック ……1.8キロ
- ベルマーク ……92点
- インクカートリッジ ……9個
- テープ芯 ……115キロ



テープ巻芯



ベルマーク

(2) 交通安全活動

当社では交通安全行動を率先垂範できる社員づくりを目指すとともに、地域社会の交通安全に貢献していくため様々な活動を行っています。これらの活動を評価いただき、2018年6月に三重県交通安全協会より交通安全優良団体として表彰を受けました。

また、全従業員が飲酒運転を含む悪質運転（デンソーグループでは飲酒運転・無免許運転・ひき逃げ・当て逃げ・暴走行為を悪質運転と呼んでいます）の根絶に努めています。社員一人ひとりが、交通安全行動を率先垂範できるよう努めております。

実施項目		内容
社員への交通安全教育	交通安全タッチ&コール（毎日）	毎日朝礼時に各職場単位で交通安全10カ条の唱和を実施
	長期連休前交通安全メッセージ放送（5月・8月・12月）	GW・夏季連休・冬季連休前の稼働最終日に社長からの交通安全メッセージを全社放送
	若年者安全運転講習（11月）	若年者の交通事故低減に向け、23年度定期新入社員と25歳以下の正社員を対象に、外部講師による加害事故防止講習を実施
	交通事故惹起者教育（年3回）	加害交通事故を起こしてしまった従業員に再発防止のため、外部講師による教育を実施
通勤車両管理	西門立哨（月1回）	当社西門にて通勤車両のルール・マナー状況確認し、指導を実施
	通勤車両チェック（随時）	違法な車両が無いか確認を実施
地域活動	カーブミラー清掃（年1回）	交通事故防止のため、大強原・池底地区のカーブミラー清掃を実施



若年者安全運転講習



社内トップ立哨



カーブミラー清掃

6. 環境報告

関連するSDGs



デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて「先進的なクルマ社会の創造」に貢献できる企業グループを目指しています。そのために、製品・生産にとどまらず事業活動のあらゆる分野で環境負荷を削減すると同時に、世界でトップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。あわせて環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。デンソートリムでは2016年から「次の10年」に向けた長期ビジョンである「デンソーエコビジョン2025」に基づき、デンソーグループ全体で「エネルギー1/2(省エネ)」、「クリーン×2(環境負荷低減)」、「グリーン×2(環境保全)」に取組み、持続可能な社会の実現に向け、積極的に活動を展開しています。



〔デンソーエコビジョン2025〕

6-1. デンソートリム環境方針

(1) 理念

当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。

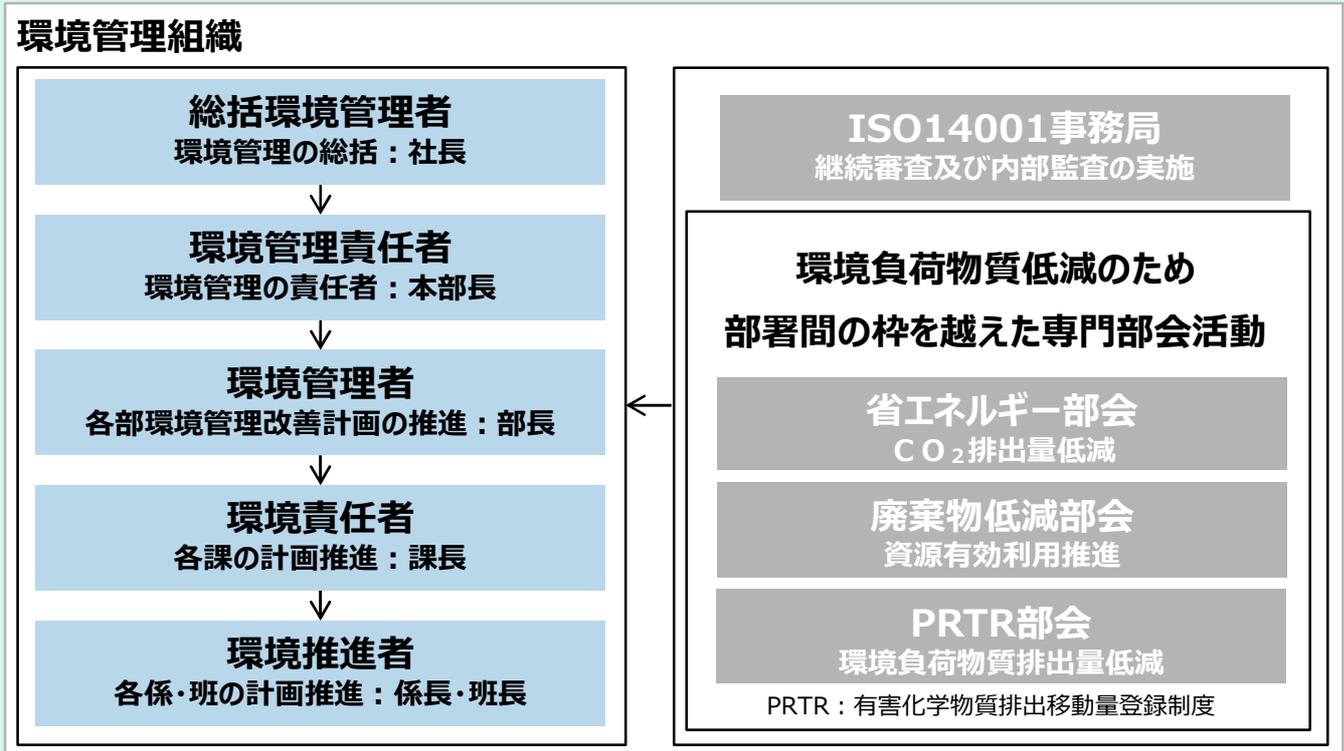
(2) 方針 (骨子)

1. 法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。
2. 製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。
3. 環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。
4. 地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。
5. この環境方針は社内外へ公開する。

スローガン：「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」

6-2. 環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。



6-3. 環境行動計画

(1) 2023年度の取組項目と実施事項

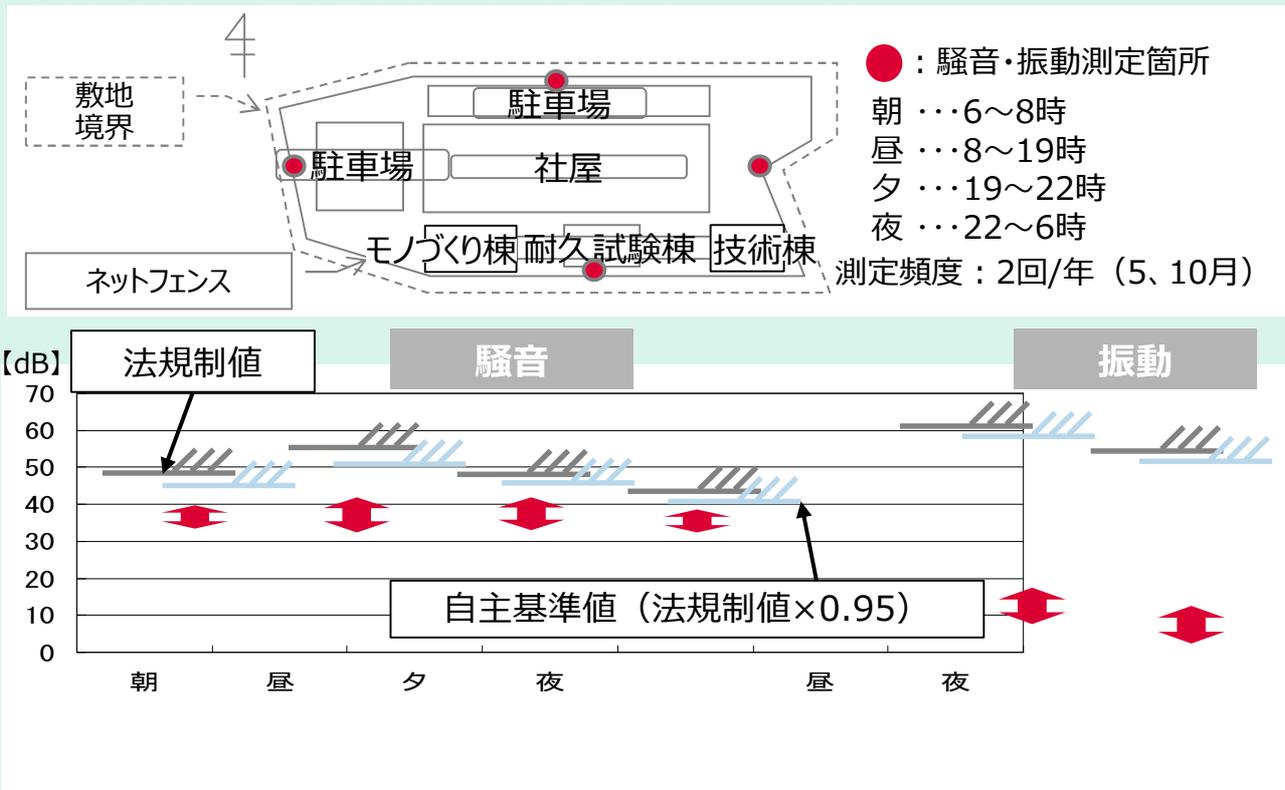
仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、環境保護に取り組んでいます。

デンソー エコビジョン	項目	取組み方針	実施事項
究極の燃費性能	車社会における消費エネルギー製品の開発及び生産	低燃費に貢献する製品の設計及び製造	2輪車用アイドルストップ製品の開発及び生産 低燃費関連製品であるO2センサーやハイブリット関連製品の製造
ミニマムCO2モノづくり	生産CO2削減	省エネルギーの推進	目標：CO ₂ 排出量 12年度比▲34%
低炭素な暮らし・移動	業務移動における化石エネルギー使用の低減	社有車更新・導入時エコカー導入	社有車ヘッドドライブレコーダーを装着 エコドライブの推進
エコマテリアル&ローエミッション	グローバル規模の環境負荷物質規制への積極的な切り替え推進	デンソーからの展開事項の順守	デンソー図面指示の順守100%
ミニマム環境負荷生産	排出物削減	排出物削減の推進	目標：前年度実績の維持
環境意識・知識・スキル	環境業務従事者の環境設備・作業リスクの知識・対応力強化	環境重要設備異常処置訓練実施 環境教育の実施	環境重要設備(2施設)の訓練実施 1回/年 従業員 2H/人 実施
環境価値創造のマネジメント	環境CSR情報の積極的な発信と地域社会等との双方向コミュニケーションの推進	環境コンプライアンス徹底	環境マネジメントシステムの運用改善 (ISO14001認定更新) 法順守100%

6-4. 法規順守状況

騒音振動測定結果

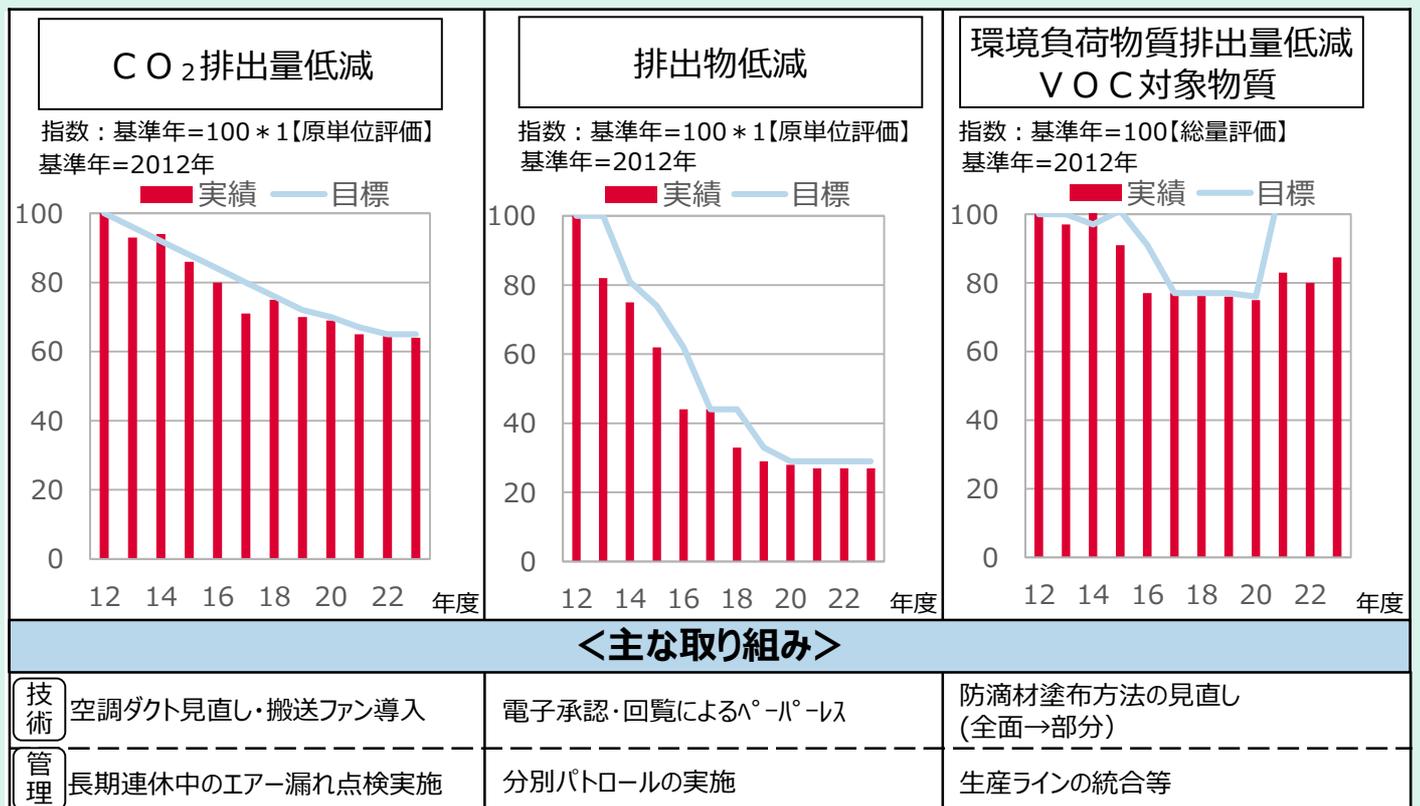
騒音、振動とも社内基準値以下の問題の無いレベルです。



6-5. 生産環境負荷削減

(1) 生産環境負荷の削減活動状況推移について

継続的な改善活動で2023年度目標は達成。さらなる改善に取り組みます。



* 1【原単位評価】：生産金額1億円当たりの排出量
 VOC：Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）

6 - 5. 生産環境負荷削減

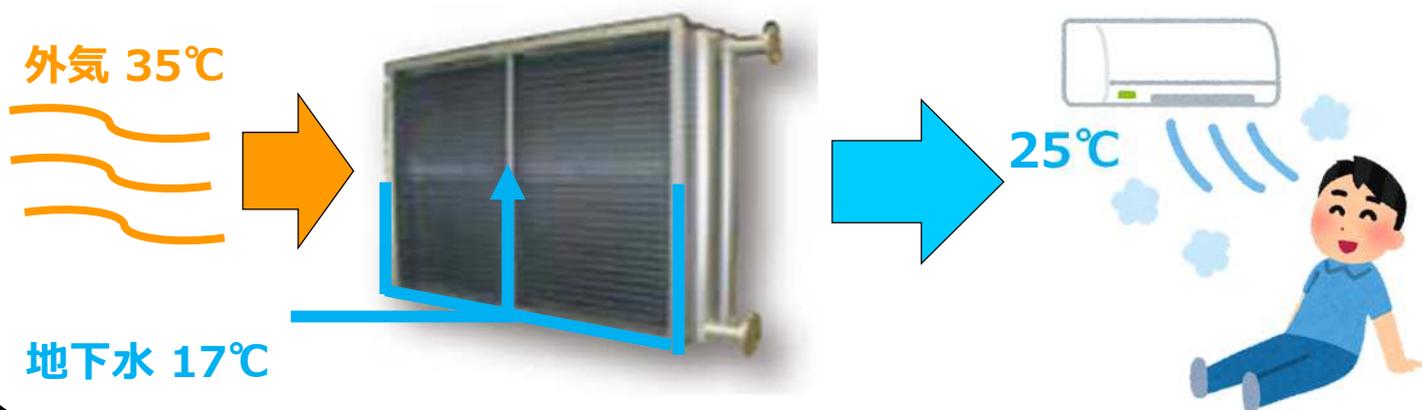
(2) 省エネ活動 - 熱マネジメントの強化推進

デンソートリムの使用電力のうち 1/4が空調電力が占めております。この空調使用電力の最小化を目指し、「徹底した熱マネジメントによる空調負荷低減」を進めてきました。

その中でも鈴鹿山脈の豊富な地下水を利用した地域性を活かした『地下水空調システム』・『屋上散水システム』が省エネに大きく貢献しています。

地下水空調システム

地下水空調システムは敷地内に井戸を設置し、一年を通じて水温が17℃の地下水をくみ上げ、ラジエーターへ通し、そこに外気を通過させることで空気を冷却させるシステムです。効果としては、▲44,606kWh/Y (▲1,378,000円/Y)



屋上散水システム

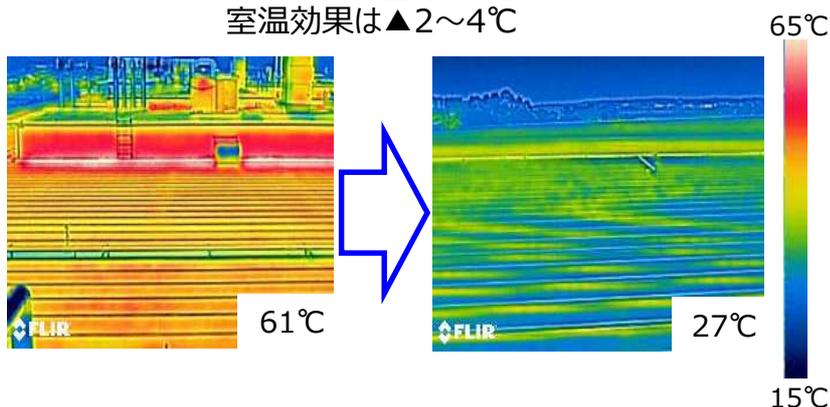
屋上散水システムは、地下水空調システムで使用した地下水を受水槽へ溜め、工場の屋根に散水することで屋根の温度上昇を防ぎ、工場内の気温低減し空調負荷低減へ繋がっています。

その効果は真夏日で ▲2,240kWh/D (▲36,736円/D)、年間では▲205,835Wh/Y (3,396,628円/Y) となります。

スプリンクラーを使用して工場屋根へ満遍なく地下水を散水しています。



真夏日は屋根温度が▲34℃
室温効果は▲2~4℃



6 - 5. 生産環境負荷削減

(3) 創エネ活動 - 太陽光発電の導入

昨今日本政府の2050年のカーボンニュートラル宣言、デンソーグループの35年カーボンニュートラル宣言等外部環境が目まぐるしく変化しており、CO2排出量低減活動の重要性は日に日に高くなっております。

そこでデンソートリムは今まで“省エネ”活動に加えて新たにエネルギーを創る活動、“創エネ”にも焦点を当てて活動に取り組んでまいります。

太陽光発電システム

本社工場・技術棟・モノづくり棟の屋上へ太陽光発電を設置。特に本社工場については積雪時に工場建屋の耐荷重が超過してしまう恐れがあることから今まで設置を避けてきましたが、工場の空調負荷で低減のために使用していた『屋上散水システム』を活用し、融雪を行うことで設置を可能にしました。

また、工場と駐車場の間にはフェンス型の太陽光発電を設置することでさらに発電量を確保することでメガソーラ規模（約1MW）の発電機を設置することができました。

効果としては、▲1,181,824kWh/Y（コストメリット：▲15,245,530円/Y）。

デンソートリムの年間電力使用量の約7%を供給することができます。



本社工場屋上 太陽光発電



駐車場工場間 フェンス型太陽光発電

編集後記

当社では、2012年からCSR（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「CSR報告書」を発行させていただいております。本冊子「CSR報告書2024」では、「CSRマネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2023年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。なお本報告書は、当社ホームページ（<http://www.densotrim.co.jp/>）に掲載しています。

また、当社はCSR活動についても（株）デンソーと連結経営を行なっております。（株）デンソーの「統合報告書（<https://www.denso.com/jp/ja/investors/library/annual-report/>）」も併せてご覧下さい。

2024年 6月

発行者 **株式会社 デンソートリム**
〒510-1222 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460

発行日 2024年6月7日

お問合せ先 株式会社デンソートリム 人事総務部 総務室
TEL 059-391-0011 FAX 059-391-0050

株式会社 デンソートリム

DENSO TRIM CORPORATION



生産地の環境・健康・経済を持続的に守る
バナナペーパーへの印刷で作成しています。
当社はSDGsを意識した誠実な企業行動を
実践していきます。